

設計担当者紹介



(株)久慈設計 東京支社 建築設計部 主査 二級建築士 佐川 浩眸

この度、健康広場管理棟等建築工事を終えることができ、西東京市関係者様、工事関係者様、工事期間中ご協力いただいた利用者の皆様に深く感謝申し上げます。

本業務につきまして、設計段階から約2年半にわたり携わらせていただけたことを大変光栄に思います。設計時に管理人の方から「新しい管理棟ができるのですね!」とお声がけをいただき、皆様が心待ちにしているということを認識した記憶があります。本施設が市民の皆様の健康づくりの拠点として利用されることを心から願っております。

西東京市 健康広場

<https://www.shisetsu-tds.jp/tokyo-nishitokyo-kenkou-hiroba/>

◆利用時間 9:00~18:00

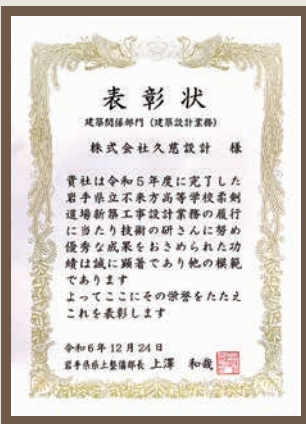
◆一般開放 【日時】
毎週水曜日・金曜日 12:00~17:00
毎月第2・第4土曜日 9:00~12:00

◆アクセス 【最寄駅】
西武池袋線「ひばりヶ丘駅」より徒歩15分
西武池袋線「保谷駅」より徒歩20分

【対象】
市内在住・在勤・在学者

【バス】
西武池袋線保谷駅北口より「はなバス」
第一ルート保谷駅北口行 ※事前に健康広場(電話:042-424-6610)または
「下保谷二丁目住宅西」下車、徒歩6分 スポーツセンター(電話:042-425-0505)に確認のうえ、
当日管理人に許可を得てからご利用ください。

令和6年度 岩手県県土整備部の優良建設関連表彰 受賞!!



表彰の様子 久慈竜也会長



表彰の様子 設計担当 吉田司 執行役員



優良建設関連業務表彰者



優良技術者表彰者

令和6年12月24日、令和6年度岩手県土整備部優良建設関連業務表彰式が行われました。建築関係部門には(株)久慈設計(盛岡本社)が担当させていただいた『岩手県立不來方高等学校柔剣道場新築工事設計業務』が受賞をいたしました!!

Always with a SMILE!

2025
2月号
Vol.239

安心安全のスポーツ活動を

特集

西東京市 健康広場管理棟等 建築工事設計監理業務



KUJI ARCHITECTS STUDIO
株式会社 久慈設計
（一級建築士事務所）

KUJI HIGASHINIHON ARCHITECTS STUDIO
株式会社 久慈設計 東日本
（一級建築士事務所）

บริษัท คูจิ เซคเค ไทย จำกัด
KUJI SEKKEI THAI CO.,LTD.
Bangkok

Always with a SMILE!

発行責任者 株式会社 久慈設計
住 所 / 岩手県盛岡市紺屋町3-11
TEL / 019-624-2020

公式HP
トップページ



公式HP
リクルートページ



「ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま」

久慈設計は「Fukushima with a SMILE!」を通じて福島県の魅力を発信していきます。



西東京市 健康広場管理棟等 建築工事設計監理業務

- 施工地 / 東京都西東京市栄町一丁目12番
- 竣工年月 / 令和6年12月
- 敷地面積 / 3,912.16㎡
- 延床面積 / 60.77㎡
- 構造 / 木造1階建
- 駐車場 / なし

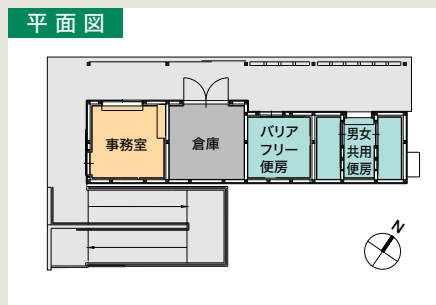
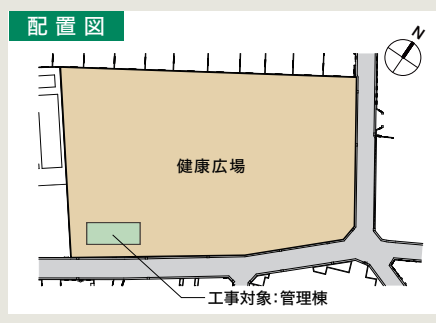
スポーツを楽しめる環境のために

武蔵野台地のほぼ中央に位置する西東京市は、広大な緑地が点在する豊かな自然を有する一方、市内に大型商業施設や、博物館、図書館などの教育環境も整う若い子育て世代に人気の都市になります。スポーツ人気も高く、市が管理する運動施設『健康広場』も、サッカー、フットサル、軟式野球やソフトボールといった球技を行える広場として市民に愛されています。現在、少年サッカーを始めとした年間のべ480団体(月約1200名)が利用する人気の施設の一つとなっております。

この度、多くの利用者数に対し、十分に対応できる設備を備えた管理棟がない現状に際し、利用者様の需要に応えるため、管理棟整備事業に(株)久慈設計が参画をいたしました。スポーツをより快適に楽しんでもらえる環境整備に取り組みをさせていただきます。



健康広場(本グラウンド敷地)



木のぬくもりのある施設を

低層住宅が立ち並び住環境に違和感なくなじむように、華やかなデザインとはせず、平屋建て切妻屋根でなおかつ、外壁材は木目調、屋根材はグレー系統を採用いたしました。計画敷地が運動場内ということで、グラウンド面積の減少を最小限とするため、事務室、倉庫、車イス用のバリアフリートイレ、男女共用トイレ2室というコンパクトな管理棟としております。また、建物正面の住宅地からトイレ部分が視線に入ってしまうことから、目隠し壁の設置を計画し、プライバシーに配慮しております。ボール飛来によるガラス破損・負傷を防止するため軒下防球ネット設置及びガラスへの飛散防止フィルムを採用するなど、球技利用が多い環境にも対応いたしました。



木の温もりが感じられる意匠デザイン



グラウンド側外観:目隠し壁と軒下防球ネットの設置



車イスの方にも利用しやすいスロープ



オストメイト対応のバリアフリートイレ



運動場への視認性を確保した事務室

設計のポイント

建物規模、耐用年数、コストを総合的に検討し、木造の在来軸組構法を用いることとしました。壁量計算、四分割法、N値計算といった設計計算に加え、軒の出が大きいため、偏心率の確認を丁寧にを行い、ねじれに対しても配慮をいたしました。